

令和4年度三木市立図書館協議会（第2回）会議録

1 開催日程

- (1) 開 会 令和5年1月31日（火）午後1時30分
(2) 閉 会 令和5年1月31日（火）午後2時30分

2 場 所 三木市立中央図書館 1階 視聴覚室

3 議事日程

- 第 1 報告事項 令和4年度図書館事業について
第 2 協議事項 令和5年度図書館事業について
第 3 協議事項 その他

4 出席者

会 長 職 務 代 行	長	高 森	伸 彦
委 員		藤 原	美 佐 子
委 員		西 中	記 美 代
委 員		上 村	和 美
委 員		香 月	尚 美
委 員		藤 原	照 美
委 員		井 上	博 子

5 欠席者 0人

6 事務局出席者

図 書 館 長	伊 藤 真 紀
図 書 館 主 査	大 西 恵 美
図 書 館 司 書	井 上 晴 美

7 傍聴者 なし

開 会

会長は、令和4年度第2回三木市立図書館協議会の開会を宣言した。

日程第1 報告事項 令和4年度図書館事業について

○事務局は、令和4年度に実施した図書館事業について説明した。

(委員) 三木北高校との連携で実施した青山図書館の「本のおたのしみ袋」を借りた。今どきの高校生がどんな本を選んでいるのかわくわくした。また、中には高校生からの手紙が入っており、とてもうれしかった。本も楽しく読ませてもらった。良い取り組みだ。

(委員) 昨年度協議した「図書館定期宅配サービス」が実際に開始され、2名の利用者があり、大変喜ばれているとのことで、もっと利用が広がることを願う。年代別貸出冊数のグラフの紹介で、70代の利用が多く中学生の利用が少ないと報告があったが、吉川図書館横にオープンした「よかところム」は、どんなところか。

(事務局) 飲食可能で地域住民の打ち合わせ、イベントを実施するなど、さまざまな使い方ができる多世代交流スペースと、その奥に学習室がある。中高生もよく利用している。

(委員) 口吉川地区は、中学校も幼稚園も統廃合によりなくなり、あるのは小学校のみである。子どもたちが行ける場所が、近くに新しくオープンしたことがうれしい。

(委員) 図書館のボランティア活動は、さまざまな方が集まり、活発に活動しているとのことだが、どのような仕組みで活動しているのか。地域の方との学校運営協議会の参考にしたい。

(事務局) 絵本の読み聞かせグループは、図書館が実施した「読み聞かせ講座」の受講生らで自主的に結成されたのが始まりである。図書修理と図書搬送ボランティアは、図書館活動を充実させるため図書館が募集し、申し込まれた方が活動している。

(委員) 活発に行われているイベントなども、ボランティアを募集しているのか。

(事務局) 図書館ボランティアの活動は大きく分けて2種類あり、団体活動と個人活動に分けられる。団体として登録している読み聞かせ等のグループは、イベントの計画・実施等自主的に活動されており、図書修理や図書搬送ボランティアは、図書館の求めに応じて個人的に活動されている。

(委員) 年代別貸出冊数のグラフを見ると、40代から増え70代が一番多い。子どもは、小さな子どもは多いが、小学5、6年生から減り、中学生、高校生、大学生はほとんど貸出されていない。中学生以上が貸出されていない理由は、忙しい、自分で本を購入する、電子書籍などをスマートフォンやタブレットで読んでいるためか。この年代別貸出冊数のグラフは昭和、平成、令和と同じ傾向をたどるのか。現在のデジタル世代の若者が40代以降になっても、紙の本を読まないままなのではないか、と懸念する。現在の中学生は、映像から物事を考えたりはできるが、文字を読んで理解して考えるということが難しい傾向にある。そこで、三木東中学校では「ひょうご子どもの読書推進」の研究推進校として指定をうけ、学校図書室を意識的に活用する時間を作ったり、三木市立図書館に紹介された「中学生への読み聞かせに適した本」を全校一斉放送で読み聞かせをしたり、生徒たちに活字を読ませる取り組みを行っている。

(委員) 親と一緒に来館する小学生、車を運転できる60代、70代は図書館に来館しやすいが、中学生、高校生は、わざわざ自転車で図書館に来館するよりも、スマートフォンやタブレットで何でも済ませてしまう。その影響は大きい。

(委員) デジタルの影響を受けてアナログなものに手を出さないのであれば、現在の20代の若者が60代、70代になっても、本を使って何かするということがなくなり、活字を追う世代が減っていくのではと心配である。

(委員) 中央図書館は、中学生が自転車で来るには遠く、夜は暗くなる。

中高生の利用が少ない要因は、デジタル化もあるが、立地条件も大きい。

日程第2 協議事項 令和5年度図書館事業について

○事務局は、令和5年度実施予定の図書館事業について、資料1のとおり説明した。

(委員) 図書館ともの会・三木は、図書館と連携し毎年ビブリオバトルを実施しているが、バトラーの応募が少ない。中学校でビブリオバトルは実施しているのか。実施している学校があれば、参加依頼したい。

(委員) 三木東中学校では実施していないが、実施する場合は応募について検討する。

(委員) その他、質問、提案、協議すべき点はないので、提案どおり執行し、改善点が見つかればこの会などで改善していくということをお願いしたい。

日程第3 協議事項 その他 来年度の電子書籍導入について

○事務局が、次のように説明した。

前回協議した電子書籍の導入については、使い方や有効性などを、学校と連携、協議しながら引き続き検討していく。

閉 会

会長が、令和4年度第2回三木市立図書館協議会の閉会を宣言した。